

# 地域の価値を高める自治会館

近隣にマンションが多く建つ住宅街の中に新たに計画する「千草台自治会館」は、大会議室の多目的利用やテラスを併設した会議室などの今までに無かった機能を設けることで、地域住民や施設利用者の新しいコミュニケーション形成の場となる自治会館です。

建物は外壁面を多くすることで、防音・耐震に配慮した構造とし、近隣への騒音トラブルを防ぐと共に、災害時にも安心して利用できる計画としています。また、働き方改革などで、自宅で過ごす時間が増えた住民たちの「人のつながり」・「居場所づくり」の場所として、子どもから高齢者まで気楽に地域コミュニティーに参加できる自治会館です。

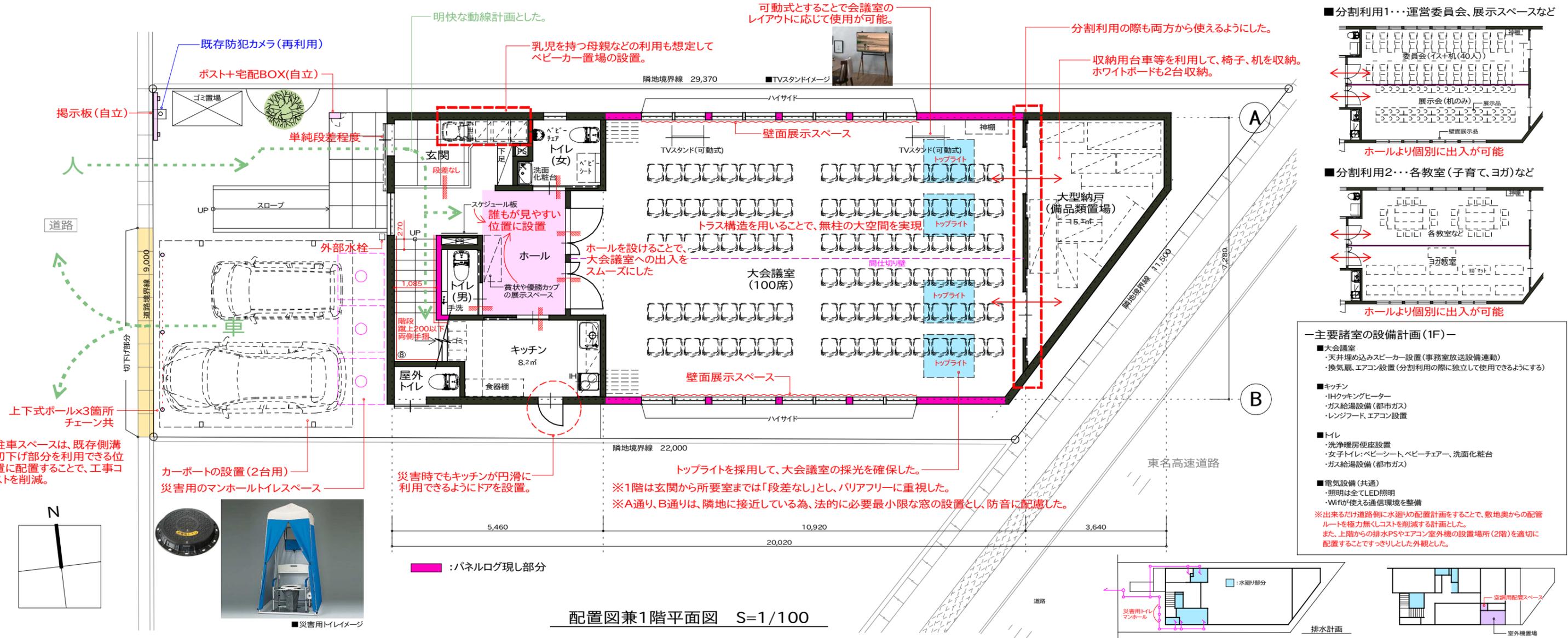
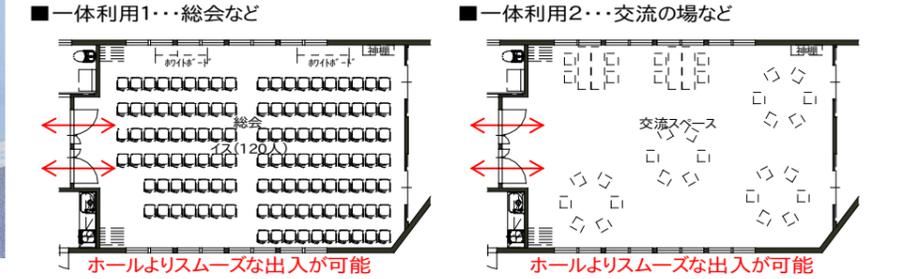


外観イメージ：白を基調としアクセントに木を利用することで清潔感のある外観とした



大会議室イメージ：両サイドの壁面は、パネルログの現し壁

## 大会議室の利用パターン



# 「横浜市千草台自治会館」新築工事デザインコンペティション

# 環境に配慮したパネルログを活用する構造計画

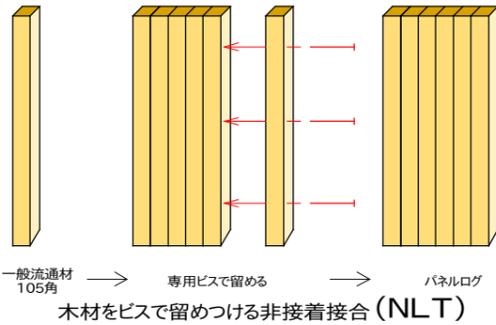
日本はフィンランドに次いで第2位の森林率を有する森林資源が豊富な国です。

そんな豊かな国産木材を有効に活用した、非接着接合の **NLT** (Nail Laminated Timber)=釘接合積層木材

利用した「**パネルログ工法**」で構造計画を考えました。※CLTは接着接合。

## 「パネルログ」

■使用する材料…国産のスギ、ヒノキの一般流通材



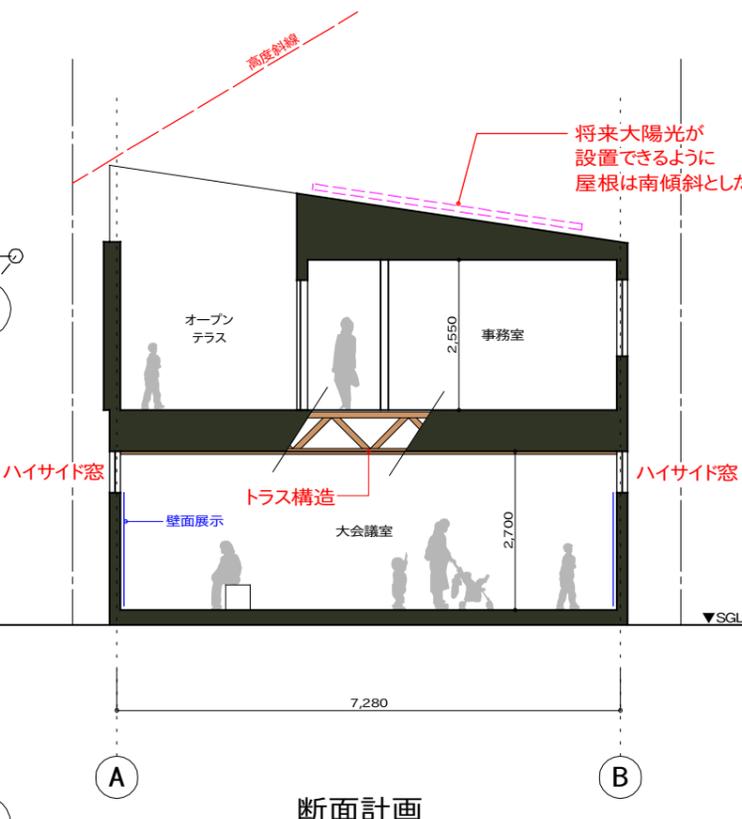
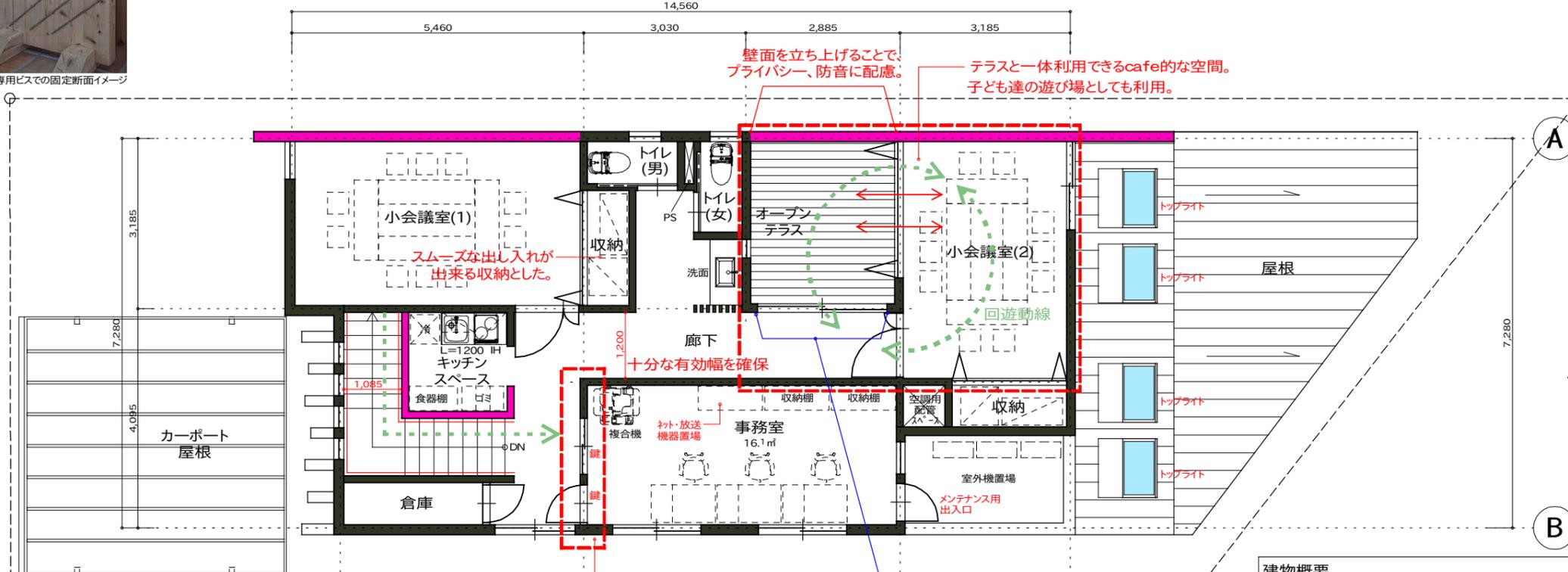
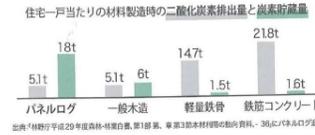
## パネルログ (NLT) を用いることのメリット

- ・パネルログはどの部分にも使用できる。外壁、間仕切り壁、床、天井、屋根
- ・一般規格サイズの105角材を有効に利用できる。特殊サイズの規格は不要。105角材の組合せ。
- ・耐火性能や耐力壁性能取得しているため、パネル1枚で仕上材や断熱材を兼ねることが出来る。
- ・一般的な木造建物の約3倍の木材を活用する為、炭素貯蔵量が増加し脱炭素社会への貢献が可能。



- 国産材の一般的な材料を使うので、ウッドショックなどの影響を受けにくい。
- 仕上げ材や断熱材を兼ねられるので、工期短縮が可能。→コスト削減
- 揮発性接着剤を使用しないことから安全な材料を提供できる。
- 無垢材による調湿性能により、快適に過ごせる。
- スギ材などを使用した場合は、杉の香りによって血圧が低下してリラックスことができ、作業や生産効率が期待できる。

価値を高めることのできる自治会館のコンセプトとして最適な材料と考えた。



- ### 一主要諸室の設備計画(2F)ー
- 事務室
    - ・所要諸室スピーカー用のマイク設備
    - ・換気扇、エアコン設置
  - 小会議室
    - ・天井埋め込みスピーカー設置(事務室放送設備連動)
    - ・換気扇、エアコン設置
  - トイレ・洗面スペース
    - ・洗浄暖房便座設置
    - ・洗面化粧台
    - ・ガス給湯設備(都市ガス)
  - キッチンスペース
    - ・IHキッチンヒーター、レンジフード
  - 電気設備(共通)
    - ・照明は全てLED照明、Wifiが使える通信環境を整備

### 建物概要

建物用途：自治会館(学校、図書館その他これらに類するもの)  
 建物構造：木造2階建て・準耐火構造  
 敷地面積：233.32㎡  
 建築面積：145.79㎡(44.1坪) 62.49% < 70%(準防火・準耐火+10%)  
 延床面積：221.72㎡(67.1坪) 95.03% < 200%  
 各階床面：1F:134.44㎡(40.6坪)、2F: 87.28㎡(26.4坪)

主な仕上 屋根：ガルバリウム鋼板  
 外壁：窯業系サイディング  
 床：フローリング、一部フロアタイル  
 壁：構造体現し、ビニルクロス貼  
 天井：ビニルクロス貼

### 概算工事費

解体工事費	170万円
本体工事費	3,130万円
設備工事費	500万円
外構工事費	270万円
地盤調査費	10万円
電気・ガス・水道の敷設費用	110万円
測量費	100万円
設計・監理費	250万円
消費税	454万円
<b>総工事費</b>	<b>4,994万円</b>
別途工事	
地盤改良費、テーブル・イス・テレビ等の備品	
登記費用	